

子宮鏡下手術クリニカルパス

氏名

経過	入院日()	手術当日()	退院日()
観察	担当看護師がお話を伺います。 	看護師が定期的にお部屋に訪問し体温・血圧・症状の変化を観察していきます。痛み・吐き気が強い時は遠慮せずお伝えください。   	
安静	制限はありません。 	手術後からベット上安静です。(身体の向き変えはできます。) 下肢の感覚が戻り次第歩行できます。(初回は看護師が付き添います。) 	制限はありません。 
食事	【午前の手術の場合】 手術前日の夜9時までに500mLの水かお茶を飲みましょう。 【午後の手術の場合】 翌朝9時までに500mLの水かお茶を飲みましょう。	手術後、看護師が観察後に飲水できます。	朝食より普通食です。 
清潔	手術前に身体を清潔にするため、入浴してください。 	手術前に歯磨きをしてください。	家に帰ってからシャワーに入ることができます。 
排泄	トイレに行くことができます。 	足の感覚が戻るまではベッドの上で排泄します。下肢の感覚が戻ったあとは、トイレに行くことができます。(初回は看護師が付き添います。)	トイレに行くことができます。 
診察処置	午前の手術の方は入院日の夕方、午後の手術の方は手術当日の朝に、病棟の診察室で子宮の入り口を広げる薬とガーゼを膣よりいれます。		退院前の診察を行います。(内診です。) 異常出血・腹痛が強くなければ退院可能となります。 
薬物療法		【午後の手術の場合】 術前に脱水予防のため、点滴をします。 手術後、補液の点滴を3本行います。 	必要時、退院時に内服薬の処方があります。 
説明	病棟内の案内をします。 手術前のオリエンテーションとクリニカルパスの説明をします。 手術の説明、同意書の確認をします。 		看護師から退院療養計画書に沿って退院後の生活について説明があります。 
目標	入院生活・手術の内容が理解できる。	術後の異常な出血がない。 痛みがコントロールされ、 転倒なくトイレに歩いて行ける。	術後の異常な出血がない。 痛みがコントロールされ、 転倒なくトイレに歩いて行ける。 退院療養計画書の内容が理解できる。

症状・経過によっては、スケジュール通りにならない場合があります。